

京阪神東雲

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会

東雲会京阪神支部会報●第19号

URL <http://www.ab.auone-net.jp/~sinonome/>

連絡先 岡田俊一(山脈12回)

神戸市垂水区神和台2-2-9



校歌と一緒に歌いませんか

懐かしい鳥取弁が飛び交うなか、恒例の鳥取〇×クイズで盛り上がりました。(写真は平成27年11月21日会場風景)

今年度も大阪キャッスルホテルで開催

京阪神東雲会会員の皆様、今年度の幹事を務めます山脈33回の矢田克明と申します。総会及び懇親会第66回を今年も大阪で開催いたします。

今年は卒後35年目の我々山脈33回が幹事を務めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願いいたします。

総会は11月19日(土)12時30分より、昨年同様大阪キャッスルホテルで開催いたします。京阪神在住の同窓の皆様の交流を深めて頂く楽しい会となるよう現在準備を進めております。

多数のご参加を心よりお待ちしておりますとともに、他地区の同窓の皆様の参加も大歓迎ですので、広くお誘い頂けたらと思います。それでは当日お会い出来ることを楽しみにしております。

(当番幹事 矢田克明)

紙上鳥取〇×クイズ

総会の鳥取〇×クイズへ向け模擬用の問題(笑)です。



- ① 今年6月5日に鳥取城攻防懐古登山マラソンが開催された。西高横から久松山の頂上に上がって下りて県庁前迄のアドベンチャーコースの優勝タイムは1時間10分である。
- ② コーヒー文化が根付いている鳥取ですが、昨年とうとう“スタバ”コーヒーが出店しましたが、もともと鳥取には“すなば”コーヒーがあります。それではもうひとつ、知る人ぞ知る“あなば”コーヒーなるものがある。
- ③ 鳥取県には温泉が10カ所ある。
- ④ 鳥取大阪間を“スーパーはくと”に乗ると、車内販売のお姉さんが来る。
- ⑤ 鳥取には「スタバは無いがすなばはある」とコメントした人物は石破茂氏である。

【答えは、4ページ】

返信はがき(平成27年度)の 近況報告から



柏葉★近況：今年 94 才になり、介護保険のお世話になっており移動困難です。(12/長澤壽一)★元気しております。懐かしい友に会う会は楽しいものですが、今は知人がいなくて残念乍ら欠席とさせていただきます。会の盛会を祈ります。(18/佐々尾昭)★去年 5 月 19 のクラス会を鳥取で行いました。皆高齢になり出席者 10 名になりました。昨年東雲会副会長三上晃氏が他界し、一層寂しくなりました。余后余生を大切に暮らそうと思っています。京阪神支部の盛会を祈っています。(19/河上義隆)★総会・懇親会の案内状ご親切にお送り下さり有難うございました。お世話たいへんで洵にご苦労様です。私方寄る歳波、目下終活中、今後とも集会に参加出来るとは思われず、会より脱退させて頂きたいとします。会の隆盛を祈りをします。『松風清き稲葉山・・・』の校歌と共に懐かしい二中の思い出は終生消える事はないでしょう。(19/森田久雄)★光陰矢の如しを痛感する此の頃です。俳句会の世話などをして過ごしています。(22/紙野康美)

山脈★今年は 4 月に弟達(山 10/14/19)と砂丘、浜坂、香住、出石、豊岡を廻りました。(2/金谷兌清)★5 月 8 日に『带状疱疹』が発症。以来 5 ヶ月弱。毎日痛みにさいなまれています。皆様の御健康と御盛会をお祈りしております。(2/吉村猛)★体調の急変にびっくり。”伊勢迄歩こう”170k 徒歩の旅の完歩がなつかしい。毎日歩きたい。(3/井上欣宏)★幹事のお役目御苦労さまです。俗に言う八十路 2 年目を迎えました健康に恵まれ『書道教室』を続けております。『生涯現役』を貫けるよう頑張っております。(3/川岸美智子)★年相応に人の世話にならない程度に控えております。(3/山崎圭子)★10 月 25 日 4 回生一全が傘寿会を鳥取市『こぜにや』で開催、参加します。関西地区では毎年 7 月 6 日梅田に集合してありますがメンバーが少しづつ減って寂しくなりつつあります。(4/小路一完)★才子多病かと誤解するほど各部位に発病し入退院を繰り返しましたが、現在消化器疾患の治療に専念しており欠席させていただきます。(4/中尾英昭)★H27 年版会報にのせて頂いたオペの副作用による健康障害に当年は悩みましたが、H28 年春には本復します。今回は大事をとって欠席させていただきます。画業は滞りなく続けております。(4/中村美登)★傘寿の春は山口(回天記念館の桜ほか)、静岡(富士山と茶畑)、上越(山菜採り)を旅しました。この秋は東北(遠刈田温泉や那須塩原温泉の紅葉)の旅に出掛けます。(5/松下泰治)★この時季、いつも届く支部会報を楽しみにしております。特に近況報告欄で、知人の近況を知ることができた時の喜びは一潮です。(5/森田明

弘)★いくつになっても母校は私に懐かしうたのしい思い出。感謝の気持ちです。(5/稲垣崇子)★災害の多い昨今、普通に暮らせる生活がどんなに幸いかしみじみとありがたく思っています。(6/宇野良子)★鳥取東高卒業 60 年を経て尚京阪神東雲会へのご案内と会報をありがとうございます。懐かしい同窓の方々のご近況等、心踊る思いでページをめくりました。(6/長谷川圭子)★六回生は今年が傘寿の年であります。加齢と共に実年齢と自身意識する年齢との差に乖離を感じ実年齢にギョッとしますが感じる間は元気であるとおもいます。同じ思いを持つ同期生と共に今年も晴れやかな会合であります様に!!(6/久永浩)★犬も歩けば棒に当たる。健康に留意しつつ老後を楽しもう。それが問題だ。老年も悪くないよ!!アッハッハ(7/川島吉夫)★そこそこ元気で好きなことをして過ごしています。ありがたいことです。(7/竹内正志)★同期が良く=(たびたび)集まり楽しんでます。(7/丹松克男)★70 才台も後半となり、当然のことながら活動力が落ちて来ましたが、今のところ大病もせず平穩に暮らしています。(7/富本恭太郎)★第 5 回神戸マラソン会長として終了後の挨拶まわり等残務処理で残念ですが出席できません。(8/植月正章)★元気な身体に毎日感謝しております。(8/橋本恭輔)★手を振れば思い出すなり東高。体育の準備体操のこと。

(8/三浦久志)★今年は喜寿に続き金婚式も迎えました。周りの人たちに感謝の年です。(8/山崎萬喜子)★ひざ痛と腰痛のため日夜悩んでおります。(9/垣本信夫)★スポーツを楽しみ毎日元気に過ごしております。(9/吉田雅子)★”日々是好日”とはいかず。毎日煩惱の日々を送っています。中秋の名月は美しいと思いながら。(10/岩崎素彦)★国内外を問わず旅行は妻と一緒にすることにしており、今年も 14 泊 15 日の旅をしました。旅を元気の素とするべく、計画・実行・記録を実践して楽しんでます。(10/西尾康弘)★ボケが出はじめました。残念!!(10/西村律男)★私達も、もうすぐ後期高齢者の仲間入りです。年を重ねたものです。ボランティア活動に日々忙しく過ごす毎日です。認知症の講演に耳をかたむけたり、明るく、元気に、小さな幸せを大切に一日一日大事に暮らせたらいいかなと思っている日々です。

(10/西脇紀恵)★昨年の総会は骨盤骨折で入院中でした。幸い経過は順調で再び走れるようになりました。人生の終着に歩み。一日を大切に悔いのない人生を全うしたい。平和な日本を次の世代に渡すために。(10/橋本巖)★会報ありがとうございます。いつも楽しく読ませて頂いております。体調管理にと努め筋力を鍛える為にパワープレートにのりにジムに通っています。(10/前田佳子)★今春心筋梗塞を経験しました。自分のことは自分でやるようにしたいものです。東京オリンピックまで目標にしております。(11/河本浩)★“たかが犬、されど犬”14 年間も一緒に暮らしていると“家族”です。目も耳も足も弱っておもらしも……。 (11/澤田和子)★当方、体に少し衰えを感じますが好奇心は旺盛、日々元気に行動しております。(11/茂井洋美)★指導して居る合唱団が 11/22(日)びわこホールでのコ

ンサートを予定して居て、11/21(土)は最終練習の為、欠席にさせていただきます。(11/田附和子)★先日梅田で同窓生七名で囲碁大会をしました。(11/福岡靖久)★9/29に腰部脊柱管狭窄症の手術をして頂き10/27に退院。坐骨神経痛などすっかり回復しましたが、遠出の外出は今少し控えております。(11/盛田和子)★テニスと将棋で元気です。(12/堂坂明宏)★2015,6,13 山脈12回。於鳥取ワシントンホテル。学舎(まなびや)のどちらさまとや問い聞けば 磯の若布(わかめ)と いみじかりける 山の根のもぐら(12/山根豊美)★ここ数年医者いらずで健康に過ごしています。お蔭様で毎日楽しく幸せをかみしめて一日一日を大切に過ごしています。今は『うた声喫茶』にはまっています。昔の歌、叙情歌大好きで生きがいにしています。(12/横田英子)★近所に引越し致しました。さすがに疲れが出ました。(12/永山知江子)★年々何となく何となく鳥取の情報を聞くのを楽しみにしてくらしています。(13/佐々木冴子)★更地になった実家跡地、鳥取が少し遠くに感じます。

(13/前田章子)★最近の週の前半(月・水)は神戸、後半(木・日)は鳥取ですごしています。(14/上口敦弘)★兵庫県登山林道協会で防災の管理業務(委託)事業を行っています。下流老人頑張っています。(14/大橋正行)★鳥取発祥のグラウンドゴルフを楽しみながら、地域活動に参加し元気に暮らしております。(14/野崎文子)★10月11日38年卒(14期)の同窓会を倉恒先生のもとに行います。38(サンパチ)の仲間は鳥取でも楽しくいろんな行事をやっています。(14/宮中俊夫)★この3月で45年間のサラリーマン生活を終えました。(15/木梨計三)★囑託として、まだ寮生、下宿生のケア活動を続けております。(15/野崎尚夫)★11月9日に鳥取で古希の同窓会があります。これからもますます元気でいたいと思います。(15/日野郁子)★昨年腰の手術 リハビリ中です。みなさんによろしく。(16/小谷保広)★健康に気をつけて、加西の特産のぶどうを作っています。赤、緑、黒と色々な品種の詰め合わせが好評でした。(クイーンニーナ、シャインマスカット、ピオーネ)(17/繁田秀江)★相変わらず月1の病院通いです。先日ウォーキングで和泉鳥取・みさき公園往復24km歩きましたが、少々疲れました。現役で頑張っております。(17/浜野純郎)★65回の記念の総会おめでとうございます。幹事の皆様のご足労ご心労で今回の総会ができました。次回以降の流れが楽しみです。

(17/吉船伸一)★カラオケスナックをして20年に成ります。元気に頑張っております。(18/井垣光子)★元気におれることに感謝して、毎日を一時を大切にしよう

と努力しています。(19/井上秀正)★福寿海の中川氏の記事他興味深い投稿でした。東高山岳部は小柄が創設手続きをして正式に出来たものです。(19/田中智誠)★去年は山脈19回を代表して一人で参加しましたが、今年は所用があり参加できません。来年を楽しみにしています。山脈19回、誰か参加して下さいよ！(19/田中満男)★娘の家に手伝いに行くことがあります(孫の相手、留守番など)。うれしいけど疲れます。(19/松岡公子)★相変わらず『子育て、共働き』ですが、そろそろ終点もみえてきました。元気でここまでこられて、ホッとしています。(20/秋田幸子)★現在、T第二中・高等学校で非常勤講師をしています。未だに教壇に立っていることが喜びです。出来る限り長く現役でいたいと願っております。(20/清水雅)★持病の腰痛と付き合いながら家庭菜園とガーデニングで気分転換してます。

(20/三浦三千代)★孫の女子高生姿を見るまでは長生きしよう！(20/山根行憲)★転勤生活を続けていましたが、宝塚におちつきました。鳥取をなつかしく思いながらくらしています。(20/荻野千代子)★一年に一回の

海外旅行を楽しみにしていましたが、家族から『危ない！』と反対されるようになりました。平和が一番ですね。(21/井上由利子)★小生現在沖縄で勤務しており、出席できませんが皆様によろしくお伝えください。(22/松岡幸雄)★定年退職後一年充電し、違う職場で正職員として働いています。週末は武庫川河川敷をジョギングしダイエットに挑戦中です。(22/西川尚子)★毎日道頓堀を見ながら第二の職場で働いています。中国人 韓国人等が職場の前をたくさん通ります。(22/増田正)★10月



京橋商店街の蟹取県のイベントで、人気のスナバコーヒーを初めて飲みました。とてもおいしかったです。元気になりました。(23/但井満則)★再就職し2年目を迎えます。65才までは何とか頑張ります・・・が体もつかな？(23/津村明宏)★会報を見て当時はふりかえり、新しい出発が出来ることに感謝。(23/坂本平)★退職後、再任用で教育現場にいます。戦後70年、戦争をしない国のかたちを変えるわけにはいきません。戦争法案撤回、憲法9条を守ろう!!(24/大田垣靖)★今春38年間の教員生活に無事ピリオドを打ちました。多くの方々に支えていただき退職できたことに心から感謝しています。4月から教育メンターとして若い先生方の応援をしています。ひたむきなその姿に元気をもらっています。(24/岸上真里)★シルバーウィーク1週間鳥取ですごしました。緑の山、青い空、ふるさとの懐に抱かれて”これに勝るものなし！”と悠悠と流れる時間を楽しみました。京都に帰り、今日もとて

神戸ラブソディー

～鳥取縁のステキな面々

松田 則章 山脈 27回

も元気です。(24/窪田美保子)★昨年腰椎骨折をしてから痩せてしまい体調を崩しやすくなってしまいました。今後は筋肉をつけて行きたいと思います。(25/大島扶美子)★退職まであと数年。後輩の育成を！と言われていますが、この年になっても若い人から教わることの何と多いことか。頑張ります。(28/宿院真由美)★今回は出席したかったのですが、祖母が入院し、度々鳥取へ帰っていて予定が立たないので、欠席致します。来年は是非出席したいと思っております。(28/細田陽子)★今年の東京マラソン、横浜マラソンでサブ・フォー達成。次はどの大会に参加しようかと思案中です。(28/湯村武)★主人の会社の後継ぎの長男が11月に結婚することになりました。(28/甲斐千恵)★同窓という目には見えなくても、何か自然に強い”きずな”を感じるようになりました。同窓・同郷、いいですね!!(29/田中雅子)★来年は皆さんとお会いして故郷の話をしたいです。ちなみに唱歌『ふるさと』の作曲者は鳥取市出身の岡野貞一です。(29/中野智登世)★仙台に単身赴任中につき参加できません。(29/吉田千里)★英語絵本読みかきせをメインに音読サークルを作ろうと考えております(いかがですか)。山33土井美智子(旧姓富山)は、12年前に病死しました。高校時代の妹をご存じの方がおいででしたら、お知らせ下さい。(30/佐藤洋子)★H26年姉が、H27年父が永眠しました。同窓会で再会した友が優しく支えてくれています。学童保育の仕事も、夫も、父の死後同居した老母も、東京在住の子ども達も、全てが、活力の源です。楽しく生きましょう!!(30/田和道佳)★保育士の仕事と趣味のフラワーアレンジを楽しんでいます。(30/宮崎朋子)★お盆帰省の折、3年時の同窓会に出席させて頂き楽しい一時を過ごしました。やはり、同窓会って良いものですね。(31/市川美子)★昨年は地元(鳥取)幹事として出席させていただき本当にありがとうございました。(31/奥村上雅浩)★関西に住んで25年。鳥取より長くなりました。(33/近藤和子)★神戸に暮らして30年が過ぎ、時の早さに驚くばかりです。(36/松本佐和子)★昨年卒業20周年の同窓会に参加できず、なかなか同窓生と集まらない日々が続いておりますが、SNSを利用し、みんなと連絡をとり合いながら昔を懐かしんでおります。(45/松田亮子)★小学校5年生の女の子、3年生の男の子2人の子育てと仕事で毎日充実しています。両方があるから頑張れるのかなと感じる今日この頃です。とても忙しいですが……。 (京阪神東雲会のことを初めて知って嬉しく思いました。)(45/岡本和子)★子育て真っ最中です。ゆっくりと自由な時間が取れるのはまだまだ先になりそうです……。 (47/山本里江)

鳥取〇×クイズの答え(問題は1ページ掲載)

①〇②答えは総会で。③〇 皆生、東郷、羽合、三朝、鳥取、吉岡、岩井、浜村、鹿野、関金。④× 平成25年1月15日に終了。⑤× 平井伸治知事。

「あの日」、鳥取にいた。震度4の揺れに飛び起き、川の字になって寝ていた妻と2人の子供を守ろうと、必死で筆筒を押さえた。今は絶対そんなことはしないが、地震の対処法に関する知識がほとんどなかった当時、反射的にとった行動だった。鳥取市郊外で水道管が破裂したとの連絡を受け取材に飛び出した。あとで分かったことだが、主な被害はこの程度。震度7を記録した神戸市を中心に6000人を超える死者が出た大震災も、直線距離でわずか130キロの隔たりで被害は桁外れに小さく、神戸の壊滅は別世界の出来事だった。

その「阪神大震災」から20年が経過した昨年夏、勤務する産経新聞社で大阪本社から神戸総局に異動した。今年の「1.17」は、初めて震災の聖地・東遊園地(神戸市中央区)で「午前5時46分」を迎えた。一帯が祈りに包まれたが、人々の鎮魂が深く長く捧げられたのは、犠牲者の名前を刻む銘板を埋め込んだ「慰霊と復興のモニュメント瞑想空間」だった。

翌日。地元新聞に載った1枚の写真に目を奪われた。銘板の一点を見つめ、女性がひざまずき、中腰の男性が女性を包み込むように抱きかかえていた。記事はなく、写真説明に「小5の次男を亡くした女性。初めて見る息子の銘板を前に泣き崩れた」とあった。一瞬にして頭の中に家族の「物語」が浮かんできた。

写真の2人は夫婦だろう。およそ人として生まれ、子供に先立たれるほどの悲しみはない。夫婦は震災後ずっと、この聖地を訪れることができなかった。子供を「死なせてしまった」悔いや痛みは癒えることがないのだ。

「来年こそ」「来年こそ」と思い続け、ようやく20年の歳月を経て夫婦は、この地に足を踏み入れた。しかし、銘板に記された我が子の名前をみた瞬間、いいようもない喪失感に襲われたのだろう。

写真はときに記事以上に雄弁だ。写真が発する慟哭に突然、涙があふれ、胸と喉が詰まった。その悲しみは、当分の間、写真を思い浮かべるときに甦った。

伊丹市の中学校で、新聞を活用した授業の事前打ち合わせをした際、担当の教諭に「良い写真とはどんなものですか」と尋ねられ、この写真について語ろうとした瞬間、夫婦の気持ちが胸に迫り、言葉に詰まった。所属する社会奉仕団体「神戸キワニスクラブ」でスピーチした際、やはり気持ちが高ぶり、話すことができなくなってしまった。人々の喜怒哀楽を伝えるのが仕事だが、取材に際して感情を露わにすることはなかったし、感情を抑えるのがプロだと思っていた。その抑制が利かなくなっていた。



今年のゴールデンウィーク、「山脈27回」（昭和51年卒業）の卒業40年同窓会が鳥取市の宿泊施設・対翠閣で開かれた。470人強の同期のうち、東京や大阪などからも含め66人が出席した。昔話に花を咲かせる中、鳥取以外から参加した何人かに聞いた。「オマエ、どこで死ぬの?」。環境順応力が高い女子はたくましい。ほとんどが「現在の住所で死ぬ」と回答した。一方、思い出に拘泥しがちな男子からは「できるなら定年後に鳥取に帰りたい」との回答が複数あった。

自分自身、大学生の時に「終の棲家は鳥取」と決めていた。都会にあこがれて東京の大学に進学した。ネオンきらめく街は嫌いじゃないが、一方で緑や土、潮の香りにふれて心のバランスをとることが必要だった。山がなく海も遠い東京のコンクリートジャングル（当時そんな表現が流行っていた）に、なかなかなじめなかった。だから、卒業して鳥取に帰ったのは必然だったが、腰の定まらない性格ゆえか、30代初めに転職し再び都会へ出ることになった。新しく勤務することになった産経新聞社では、転勤で一度、鳥取に帰った（冒頭の震災のころ）ものの、40歳から58歳の現在に至るまで、鳥取に家族を置き、鳥取以外の場所で単身赴任生活を続けている。

大阪、広島、京都、西宮、奈良、大阪と、短いときは1年足らず、長いときは6年の周期で移り住み、昨年7月に神戸に来た。60歳の定年までここにいるかどうか分からないが、自分としては郷里を離れて過ごす最後の場所だと思っている。とはいえ、軸足を鳥取に置きながら、自分はあちこち移り住む生活が嫌いではない。周囲からは「（単身赴任）18年も…。変わった人生ですね」と珍しがられる。それゆえ「こんな人生、ほかにない」と思っていたら、今年、まったく同じ境遇、しかも高校、大学とも同窓で、鳥取の住所（帰省先）が同じという後輩に出会った。人生はときに「小説より奇なり」である。



その後輩、山陰合同銀行神戸支店長の矢田克明（よしあき）さんは私より6歳年下の山脈33回。今年2月、神戸キワニスクラブに入会した際、先輩会員として矢田さんがいた。その数カ月前には、鳥取県関西本部長の米

田裕子さん（当時）の紹介で、神戸でレストラン船を運営するコンチェルトの会長、南部真知子さんと知り合っていた。鳥取市出身の南部さんは山脈何回か上の先輩。矢田さん、南部さんと誘い合わせて神戸の旧居留地で食事をともにしたとき、話題はあちこちしながら尽きることがなかった。波長が合うというか、安心感があるというか、「同窓はありがたし」と感じたものである。

神戸で結んだ「縁（えにし）」はまだある。鳥取東高とは離れるが、兵庫県の井戸敏三知事は自治官僚時代、初任地として鳥取県に赴いた。知事は今でも当時の同僚だった鳥取県庁OB職員と親交があり、鳥取市を訪れると、弥生町あたりに繰り出すことがあるという。さらに、荒木一聡兵庫県副知事、岡口憲義神戸市副市長はともに但馬の出身で鳥取西高（越境通学をされた）の卒業生だ。

元神戸大学長の新野幸次郎先生は旧八東町の出身で、神戸市の産官学界で知らない人がいないほどの著名人。新野先生は91歳の今も矍鑠とされ、多くの会合で顔を合わせる。その新野先生はかつて、アシックス創業者で神戸商工会議所副会頭を務めた鬼塚喜八郎さんとともに鳥取県政顧問を務め、神戸の地を拠点に故郷の発展のた

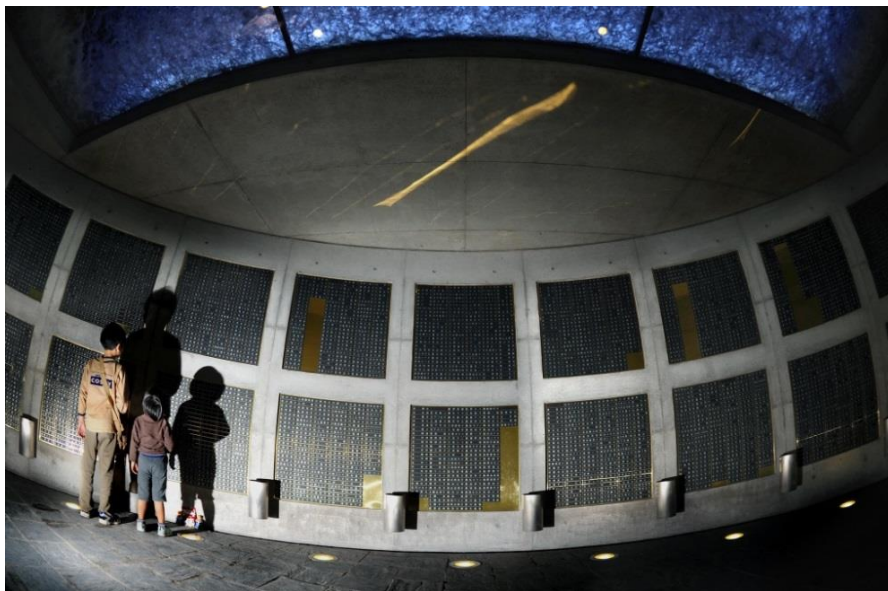
めに尽された。当時、鳥取県政記者としてお二方に一方的な親近感を抱いていただけに、新野先生にお会いしたとき、「歴史」にふれたような奇妙な感慨にとらわれた。

単身赴任の18年間、ここまで鳥取や母校と結ぶ縁はなかったから、奇跡のような神戸のつながりに驚き、感謝している。ひるがえると、小学校の修学旅行ではクルーズ

船で神戸港内を遊覧した。長じてからは、車を飛ばして鳥取から神戸まで日帰り遊びに来たものだ。鳥取市に住む者にとって、昔も今も、神戸はもっとも身近な都会であろう。

鳥取支局から大阪本社に異動したのは、震災から4年経った平成11年だった。大阪に向かう「スーパーはくと」の車窓から見た神戸にはまだぼつぼつと空き地があった。それから、折に触れて車窓から眺める神戸は着実にたくましく復興していった。いま、人々も街並みも、「明るさ」「自信」にあふれているように見える。人情あつい大阪、古都のたたずまいが魅惑的な京都・奈良。関西各地を移り住み、どの土地も「住めば都」と惹かれたが、いまは神戸に「恋」している。さて、あすはどんな出会いが待っているだろう。

【写真：静謐な空気に満ちた東遊園地の瞑想空間】



英語と私

(その 2)

長澤壽一 柏葉 12 回

最初の授業で緊張する生徒を前に、桜井先生が学年の終わりに
は読めるようになるといわれた
一年生最後のレッスンは、Lesson
Thirty-One で The Last
Lesson(最後の授業)という題名
である。それを以下に再録する。



桜井薫先生
写真提供：編集部

We are at the end of the first
year at this school. It is
surprising how fast time passes.

(学校の一年目は終わりました。時の流れが早いのに驚
きます。)

We came to this school last April. At that time, most
of us did not know any English, not even the alphabet.
But now we can enjoy short stories in easy English.
Some can even use the language quite well. (昨年 4 月
入学した時、ほとんどの者が英語についてはアルファベ
ットさえも知りませんでした。しかし、今ではやさしい
英語で短い話を楽しむことができます。なかには、とて
も良く英語を使うことのできる人もいます。)

Besides English, we began learning several other
new subjects during this past year. Chinese classics,
algebra and geometry are a few of them (この一年間
には英語以外にも新しい科目をいくつか勉強を始めました。
漢文、代数、幾何などです。)

The coldest month is over, and it is already March.
See how much warmer and longer the days are than
they were in February. Very soon it will be April
again, and we shall pass on to the second year class.
(一番寒い月は終わって、もうすでに 3 月です。2 月に
比べると、とても暖かく日も長くなっています。もうす
ぐ 4 月になり、私達は 2 年生に進級します。)

How proud we shall feel then! We shall have
about two hundred new boys in the school. I am sure
we shall feel like being brothers, to them. (その時はど
んなにうれしいことでしょう！ 学校には新入生が約
200 名入学してきます。きっと私達は兄弟のような気分
になることでしょう。)

Of course there will be examinations before that,
and some few boys say they hate them, but why should
they? I rather enjoy having examinations now and
then, because we can show to our teachers how well

we know our lessons. (勿論、その前に試験があります。
試験は嫌だという者も少しはいます。しかし、どうして
試験を嫌うのでしょうか？ 私は時々試験をして貰うこ
とのほうがむしろ楽しみです。それはどれだけ勉強がで
きたか先生に見て貰うことができるからです。)

When I think of examinations, I always think of the
holidays after them, and you know spring holidays are
especially enjoyable. (試験のことを考える時、私はい
つも試験の後の休暇のことを考えます。特に、春休みは
愉快ですね。)

What good time there is for us boys in spring in the
fields and on the hills! (春は野原や山でなんと楽しい
時が過ごせることでしょう！)

So, now let us say a hearty goodbye to the old school
year. (それでは過ぎ去った一年に心をこめてお別れを言
おうではありませんか。)

The New King's Crown Readers の Book Two つま
り二年生用の教科書は長い文章ばかりだが、手紙文や挿
絵なども沢山入り、これが十分消化できれば、日常会話
になんら問題はないと思われるぐらいである。このころ
私は木立ちの茂った家の 裏庭に立って大声で英語の教
科書を音読して発声練習をしていたことを思い出す。

二年生の授業では、「農夫と悪魔」が土地の収穫物の
配分をめぐる、地上のものにするか、地下のものにする
か、交渉するが、結局、農夫が知恵を使って悪魔を打
ち負かすという物語が印象に残っている。出典はグリム
童話。



野田文蔵先生
写真提供：野田美恵様

三年の英語の先生は野田文蔵
先生だった。あだ名は野田文(の
だぶん)。先生には貿易商社な
ど実務の経験は全く無かったに
も拘わらず、先生の英語の発音
はまことにスムーズで、英語で
話すことに非常に熱心だった。
当時としては、このような型破
りな授業は、少なくとも鳥取県
のほかの中学校ではやっていな
かったのではないと思う。

1922 年(大正 11 年)来日
した H.E. Palmer(パーマー)が English through English
という「英語で考える」ことを目指した direct method
(直接方式)を提唱していた時期と重なりその影響もあ
ったのではなかろうか。

先生は片手に小型の英英辞書「Pocket Oxford Dictionary」
(ポケット・オックスフォード・ディクショナリ)を持
ち、生徒の席の間を歩きながら授業を英語で行なわれた。
鳥取のような田舎町では異例のことだった。この辞書は
1924 年に英国のオックスフォード大学の出版局が発行
したもので、出版されてから十年くらいの当時としては
新刊本であった。(以下次号に掲載予定)

来んさい！見んさい！ 住んでみんさい！智頭！

中西藤江 山脈30回

京阪神東雲会会員の皆さま、こんにちは。
生まれ育った鳥取市から県境の町、智頭町に嫁いで26年。当初は、まだ、智頭急行線や鳥取道も通ってはならず、やや閉鎖的なイメージが強い町でしたが、近年、町外の知人たちから、「智頭は元気があるね！」などと声を掛けられることが多くなりました。

平成16年、全国で平成の大合併が行われる中、智頭町は町単独存続の道を選択しました。以来、「百人委員会」という町の活性化を図る為の組織も作られ、官民力を合わせてユニークな取り組みが行われています。

森のようちえん 森のようちえんは、自然の中が保育の場所となります。智頭のあちらこちらの豊かな野山を対象としているので、フィールドはかなり広く、活動内容も多岐にわたります。保育日は、月～金曜日の9時～14時or17時まで。なお、季節により2週間～1ヶ月のお休みをします。対象は、3～5才児。野山のおさんぽは勿論、川での魚釣り、シャワークライミング、クッキング、田植え、餅つき、味噌づくりなどなど、本当に楽しそうですね。森のようちえんの魅力は、子どもの自主性に重きを置き、遊びや自然とのかかわりを通して成長し、感性を磨いていく点でしょう。自然の中ですから、少々危険な場合もあることでしょう。しかし、そういう時でも慎重に見守りつつも、保育者や親が先回りして導くのではなく、子どもの自主性を尊重して、危険や子ども同士のトラブルを子どもたち自身の力で解決できるようにすることを目的としているようです。

疎開保険 智頭町には、「疎開保険」という珍しい制度があります。これは、智頭町以外にお住まいの方で、万が一、地震等の災害で被災された場合に、1週間（一日三食付き）で、宿泊先を提供するものです。掛け金は、一例として、1年間、家族4人分で20,000円。被災されなかった場合には、町の特産品が年1回届けられるそうです。ここで提供される宿泊所は、「民泊」と言って、町民の方の自宅を宿泊所として提供するものです。疎開保険時以外でも、田舎くらし体験用とか森林セラピー時の宿泊にも利用されています。都会の方々に田舎暮らしを経験して頂き、ひいては移住のきっかけになればという事で、移住、定住をアピールしています。

森のセラピー

豊かな森の中で樹木、土、水など自然の息吹を感じリラックスすることで癒やしを得る。そして、心身とも健康な状態へと導き、病気の予防へと繋がるのを目的としています。森の中のウォーキング、瞑想、冬はスノーシュー、夏はシャワークライミングといったメニューもあり、汗をかいた後は、薪で沸かした木の香りたっぷりのお風呂にも入れます。アロマエキスの抽出、木の箸作り、杉玉作り、間伐体験等各種体験もできます。

大麻草の栽培

伊勢神宮からのお札が「神宮大麻」と言われることからわかるように、古来日本では、大麻草はしめ縄など神事の道具として欠かせないものであり、栽培が盛んに行われていました。しかし、戦後禁止されたこともあり衰退してしまいました。現在では、県知事の免許が必要ですが、栽培が認められており、衣料、食用に使用できます。大麻草は繊維、建築用材、燃料など衣食住に応用できる素晴らしい資源です。多くの利用価値を持った大麻草の栽培は、今後とても有望なものといえるでしょう。余談になりますが、大麻草から採られた繊維が日本のいたるところで干されて輝いている様子が黄金みたいで、それを見た外国人が「黄金の国ジパング」と言ったのではないかと・という説もあるそうです。

森カフェめぐり

移住して来られた漫画家が、麻について漫画を描きながら、麻の実を使ったコーヒー、スイーツを提供する古民家の麻カフェ「かろり」があります。

「かろり」の他にも、廃校となった施設や古民家を利用し、移住、Uターンの方がオープンした、カフェやパン屋さんがあります。そんなカフェを超小型モビリティ

（CO2排出ゼロ環境に優しいコンパクト電気自動車）に乗って、風を感じながら廻る「森カフェめぐり」という企画もあります。

智頭町では、近年、いろんなイベント・祭りを開催しています。1月初めには雪像と雪灯籠で飾る「雪まつり」、3月の終りには、町内の民家にひな人形を飾り付けお茶やお菓子でもてなす「雛あらし」などがあります。今年4月に

は、6年に1度の大きな祭り「諏訪神社式年柱祭り」が開催されました。これは、信州諏訪大社の柱祭りに倣って1782年から行われている県指定無形民俗文化財という勇壮なお祭りです。早朝3時に山に入り、奉納する杉の木を担ぎ出します。丸太に飾り付けをして八時の花火を合図に丸太を担いで町内を練り歩き、神社へ向います。そこで皮を剥き塩で清め加工し、四本の柱を神社の本殿の四隅に建立し、しめ縄とお神酒を供えて神事は終了します。重い丸太を担ぐとても過酷な祭りなのですが、担ぎ手が不足している現状です。この度は、大々的に町外からの担ぎ手の募集を呼びかけました。

【スケッチ：智頭町石谷家前の消防屯所】



母校理系のクラスが神戸 でOBの講演を聴く

母校では関西方面の研修旅行を実施し、進路に役立つ施設設備の見学を盛り込んだ研修を行っています。昨年の10月14日には、理系の一クラスは、永田一行氏（川崎重工業㈱車両カンパニー技術本部設計部部長・山脈32回）の話を聞きました。新幹線の設計などを糸口に現場の技術者の視点から「夢を抱き続けることの大切さとその後の進路実現に関わる」話をされました。



【写真：神戸海洋博物館内カワサキワールド会議室】

囲碁同好会へのお誘い

同好会ができて3年経ちました。メンバー7人で月に1回のペースで楽しんでいます。本会は高段者から級位者までいます。対局後の自由参加の飲み会も好評。
場所：大阪駅前第三ビル22階・鳥取県関西本部交流室。
世話人：鈴木亮介（山脈11回 TEL072-728-7456）

東京東雲会との交流を

東京東雲会は毎年7月の第一土曜日に総会・懇親会を開催しています。今年度の総会では、「京阪神支部総会の開催日時の案内」をして頂きました。それぞれの総会に参加して同級生の交歓の場にできればと思います。他地区の同窓生が参加される場合には各事務局へ連絡をしてください。東京東雲会の連絡先は 東京東雲会事務局 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番1号 日本プレスセンタービル3階 鈴木・曾我法律事務所内 TEL03-3503-7272 です。



【写真：於 法曹会館 東京東雲会総会 2016/07/2】

鳥取のグルメ

- 市役所食堂 素ラーメン うどん出汁に中華麺、具はもやしとねぎとかまぼこ。好みで天かすと胡椒は自由に入れます。250円。鳥取カレー(500円)もお勧め。
- 武蔵屋 武蔵屋食堂（明治45年創業）元祖素ラーメン（半素ラーメン有り） ふわふわ卵の親子丼 牛カツ丼 豚カツ丼 店構えに当時の面影はないものの、同じ場所に健在。市民に親しまれている。



本年度会計報告 会費で総会案内と広報紙作成が維持されています。納入のご協力をお願いします。

平成27年度総会会計		(単位 円)		
費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	50,000			
総会会費	424,600			61件
総会支出		410,474		会場支払
会議費		6,271		封入作業等
連絡通信費		3,176		切手、葉書他
総会資料作成費		2,008		印刷、用紙代
雑費		2,150		法被洗濯代
寄付金会計へ繰出		521		
合計	474,600	424,600	50,000	

平成27年度寄付金会計				
費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	199,868			
平成27年度寄付金収入	225,020			187件
総会当日入金分	54,000			54件
総会会計より繰入	521			
振込用紙印字		952		
平成27年度総会案内送料		79,428		
出欠ハガキ代920×@52		47,840		
データ管理費(金井氏へ)		100,000		
振込料		324		
総会案内会報印刷代		52,675		
運賃送料		2,830		
平成27年度総会費用補填		0		
会報編集通信費		1,000		
本部総会出席費用		10,000		
合計	479,409	295,049	184,360	

編集後記 今年も総会の日が巡ってきました。

19号をお届けします。会報を充実させ総会に出られない方々へもお届けし母校の“絆”としたいと思います。広く会員の皆様からの原稿をお待ちしております。3ページのカットは山崎勝彦氏(山脈12回)にお願いをしました。スケッチはおかだが担当。(おおにし・おかだ・やまべ)